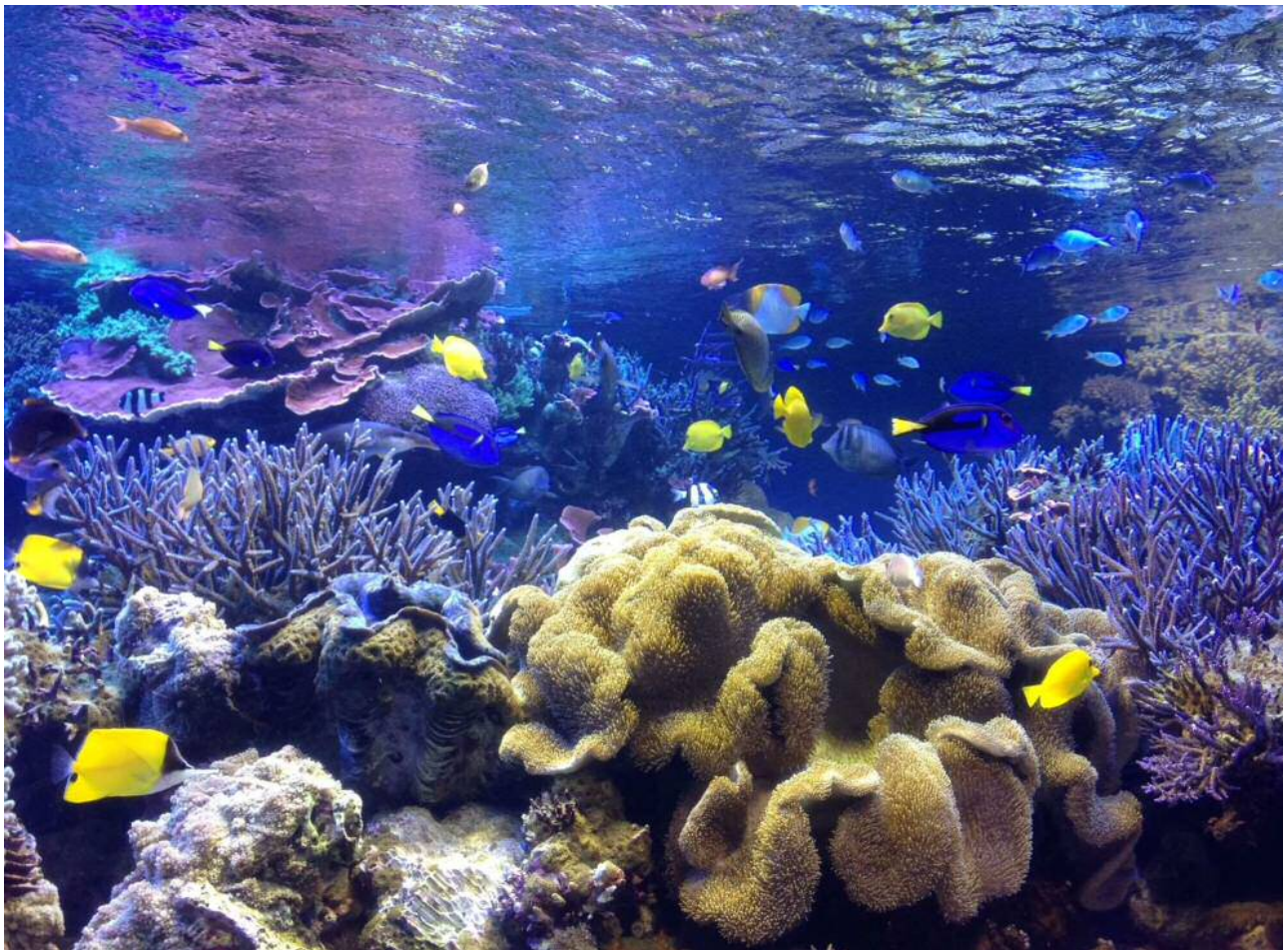


Akatake Times

Vol. 10
(通算 第163号)

明けましておめでとうございます！
今年(さる)は申(さる)年。
サルと言えば「見ザル、聞かザル、言わザル」が有名ですが、
実はこれ、8枚の絵のうちの1枚なんだそうです。
8枚の絵で猿の一生を描きながら、「人の生き方」を伝えて
いるとのこと。



『鳥羽水族館にて』

平成27年度の忘年会は数年ぶりの旅行形式で、三重県は伊勢・鳥羽方面へ足を延ばしました。伊勢神宮を参拝したり、おかけ横丁で買い物を楽しんだり、夫婦岩の景観に見惚れたり、濃密に過ぎた2日間でした。

写真は、鳥羽水族館を訪れた際の1枚。

ガラス越しとは思えないその美しさは、まるで水の中にいるかのような錯覚を覚えます。ずっと見ていると、本能が海に回帰したがるためか、ピュアな心＝初心を思い出すような気がします。透き通るようなその蒼さに、2016年を清々しい気持ちで始められるようにとの想いを込めました。

撮影日時：2015年12月13日 撮影場所：鳥羽水族館

古きを温ねて新しきを知る、一年の計は元旦にあり



♥各位 穏やかな新年を迎えられ、「一年の計は元旦にあり」、それぞれの思いを込めて今年の計を描いていることと思います。この「一年の計は元旦にあり」は、毛利元就が長男の毛利隆元に書いた手紙に「一年の計は春にあり、一月の計は朔日にあり、一日の計は鶏鳴にあり」という説と、毛利元就が新年で浮かれている家臣に「世の愚か者どもは、恵方(えほう。歳徳神の在する方位)を拝んで屠蘇を飲み、長寿・子孫繁栄を祝って浮かれているが、元旦はそんなのんきなものでなく、年の初めに一年の事をじっくり考える。それが本当の祝いというものである。」と叱咤したという説もあるようです。いずれにしても、その意味は、1年の計は年の初めに、ひと月の計画は月初めに、今日の計画は朝に立てなさい、どんなことも最初の計画が肝心で、しかも早くやったほうが良いという教えとのことです。何気なく使うフレーズもそれなりの逸話があるものです。一年の計は元旦にあり…改めて肝に銘じておきたいものです。

◆私の子供の頃の晦日や正月は、さしたる思い出は残ってなく、親戚の人たちが集まって餅をついたこと、靴とか衣類を一つだけ新しく買ってもらったくらいですかね。当時の我が家では子供はあくまでも脇役で、大人の中でうずくまっていたような気がします。小学生の頃のうすらとした思い出に、確か12月か1月だったと思います。寒風の中、農業を生業としていた祖父に連れられて田んぼに出かけていき、フナ、メダカなど小魚を入れ、どんぶりのような器を田んぼの真ん中に置いてきた記憶があります。そこでは、多分去年の収穫のお礼と今年の豊作を祈念したのではないかと思います。節分の日に、子供たちが近所の「おだい★」の家に出かけていき、豆まきを楽しんだものでした。昭和30年代の田舎のことですからそんなに大したお菓子は無いのですが5円玉が含まれていたような気がします。

喜々として大声で、こっちにも投げて！と叫んだことを覚えています。また、「おだい」の家はテレビをいち早く買い求めたので近所の子供同士、夕飯時にしばしばその家に行き、外から食い入るようにテレビを見たものでした。

十五夜に、祖父の手伝いをして庭にテーブルを用意し、団子と野菜など収穫物をお供えたものでした。

当時は深い意味など理解できないまでも、お月さんに感謝しているような雰囲気だったことを覚えています。

このような幼いころの思い出が時々、とりとめなく頭をよぎります。

私が2歳の頃、実父が亡くなり、祖父に育てられた(祖母もいましたが、どちらかという実兄を可愛がっていた)頃が無性に懐かしく思うのでしょうか。

子供の頃、知らず知らずのうちにいろいろな体験から培った教えを反芻しているのかもしれないね。

★実家の地域では昔使っていた「おだい」という言葉は、お大尽の略語と思われまます。

私が住んでいた田舎には、瓦屋と宗教法人らしき家の2軒がありました。



◆我が社は1971年生まれ、当年とって45歳。

酸いも甘いも噛み分ける…人生経験を積み重ね、人情に精通し世の中の裏も表も知り尽くしている…歳であります。

幼いころは、貧しく、貧相なバラックのような家に住みつつも世間に背を向けず真っ当に努力し、多くの失敗と成功を繰り返しながら、多くの人に叱咤激励されようやく人並みに生活できるようになりました。

今後は、45年間の経験を活かし揺るぎのない人生、身の程をわきまえ他人(ひと)のために貢献できる人生を送っていけることを願ってやみません。

3月20日(日)にささやかであります、社員、家族、先輩方々、ご縁の深い方々と共に45歳を祝いたしたいと思います。

記念講演として、なんでも鑑定団でおなじみの北原照久氏(玩具コレクター、ブリキのおもちゃ博物館館長)をお招きする予定です。

ともに喜び、過去に学びともに成長を願いつつ思い出に残る会を企画したいと考えていますので、各位のお知恵を拝借したいと思っています。

◆昨年、生と死は紙一重の体験で事なき得た社員や社員の伴侶がいました。くれぐれも健康に留意し、時間を有効につかい、この一年を実りある年にしていきたいと思います。

ご安全に！

代表取締役社長 赤堀 肇紀



安全大会 & 避難訓練

【安全大会】

2015年11月7日に沼津警察署から交通課の警察官が講師として交通安全について講演しました。

その中で必ず守らなければならない項目がいくつかあります。

★飲酒運転は厳禁

★車両だけではなく歩行者との軽い接触でも、必ず警察に連絡をする

★信号機の青は進めではなく、進むことができる。黄は注意しながら進むではなく、止まれ赤は進んではダメ

★止まれは必ずとまれ！ゆっくり走行

交通事故は辛い、悲しい、そして人生を大きく変えてしまうほど重大な恐ろしい出来事なのです。ハンドルを握る前に、必ず「のんびり、ゆっくり、安全運転」と心がけましょう！



【避難訓練】

2015年12月11日に地震による避難訓練を実施しました。

お昼休み後に地震が発生し緊急の放送が鳴り、地震が治まるまで机などの下に身をかがめ待機。その後ヘルメットを着用しながら工場西側に避難。

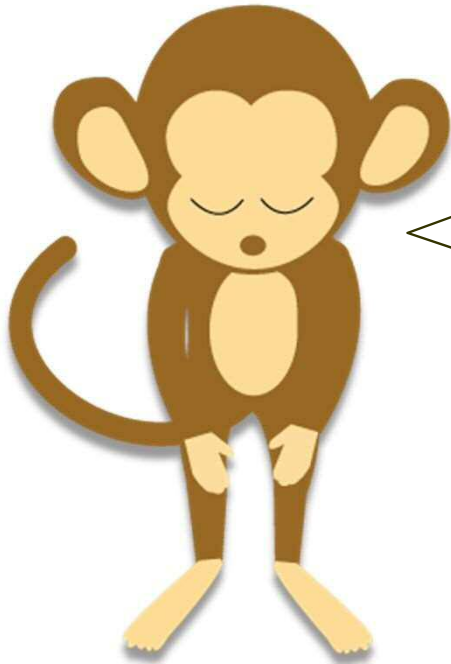
集合時間は約2分20秒。前回の避難訓練よりも3分ほど時間短縮が出来ました。

その後5階で資料を見ながら避難場所と避難経路の説明がありました。

- 避難場所 : 西部市民運動場・・・会社より北に向かい徒歩10分～15分
※健常者は市民病院へ避難せず速やかに指定の避難場所へ！
- 会社の海拔 : 7.7m・・・大地震後に地盤が液状化現象の可能性有り
- 大切な心構え: ①速やかに避難、小さな揺れでもすぐ逃げる、自己判断はNG
②車はダメ、渋滞の原因で逃げ遅れ
③遠くより、高く



本当の地震が起きた時、慌てず冷静にそして素早い行動が必要です！！



明けましておめでとうございます。
旧年中は格別なご高配を賜り、
まことに有難く厚く御礼申し上げます。
本年も、より一層のご支援を賜りますよう、
従業員一同心よりお願い申し上げます。